

基本評価シート
様式

(新潟県環境局環境対策課)

イノシシ基本評価シート

1. 事業の基本情報

事業名 (※1)	実施計画作成等事業		
	指定管理鳥獣捕獲等事業		
	効果的捕獲促進事業 (市町村連携)		
	認定鳥獣捕獲等事業者等の育成		
	ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成		
都道府県名	新潟県	担当者部・係名	環境局 環境対策課
担当者名	関田 悠満	担当者連絡先	025-280-5152
捕獲実施事業者	(一社)新潟県猟友会 認定を受けている	予算額 (※2)	33,570,000 円
		予算額の内捕獲 に要する経費 (※3)	捕獲事業 : 9,000,000 円 市町村連携 : 8,000,000 円 (ニホンジカと合算)

(※1) 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

(※2) 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

(※3) 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
【①捕獲等事業】 300 頭	520 頭 (銃猟 : 257 頭、わな猟 : 263 頭)	173.3%
【②市町村連携事業】 200 頭	31 頭 (銃猟 : 15 頭、わな猟 : 16 頭)	15.5%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数 (R1 年度末時点)	特定計画管理目標	目標生息頭数
8,549~17,530 頭 (95%信頼区間) 11,250 頭 (中央値)	農作物被害の低減及び人身被害の未然防止、生息数の適正な管理	令和8年度末の推定生息個体数を6,900頭程度
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲 (個体数調整)
1,101 頭 (R5 年度)	2,334 頭 (R5 年度)	

○これまでの個体群管理の取組み (都道府県単独事業)

県単独事業なし

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>新潟県におけるイノシシの分布は、平成15年度の調査においては、上越市西端、妙高市北端、糸魚川市の一部など限定的であった。しかし、現在は上越地域や中越地域の米山山系に高密度で生息しており、下越地域でも捕獲数が増加していることから、県内のほぼ全域（佐渡・粟島を除く）に生息域が拡大していると推測される。</p> <p>階層ベイズ法による個体数推定の結果、令和元年度の中央値で11,250頭(95%信用区間:8,549~17,530頭)と推定されており、令和元年度と同じ捕獲圧では、個体数が増加し続けることが予測されている。また、平成27年度から令和4年度に狩猟者からの協力を得て収集された出猟カレンダーの集計結果から捕獲効率は上昇傾向であるものの、目撃効率については横ばいであり、生息数が減少するには至っていないと考えられる。</p> <p>令和4年度の出猟カレンダーの分析結果から、生息密度が高いと考えられる地域は上越地域の中央部や上越地域と中越地域の境界部、下越地域の福島県境付近であった。こうした県内でも生息密度が高いと考えられる地域の中から、捕獲の実施地点を選定することが、県内の個体数削減への寄与が高く、費用対効果を高める上でも重要である。</p> <p>また、令和2年4月24日に上越市と妙高市において、本県で初めて野生イノシシにおけるCSF(豚熱)の感染が確認されたことから、防疫措置を講じながら捕獲強化に取り組む必要がある。</p> <p>この現状を踏まえ、適切な個体数管理を進めていくためには、現在以上の捕獲圧を与えなければならない。そのために有害捕獲や個体数調整捕獲、狩猟捕獲に加え、当事業により捕獲を実施することで捕獲の強化を図る必要がある。当事業では市町村の有害捕獲事業との棲み分けを図りながら、地域の農業被害対策と連携した効果的な捕獲を実施する。</p> <p>さらに、環境省が引き続き尾瀬地区(新潟県域)における捕獲を行い、さらなる捕獲圧の強化を図る。</p> <p>【選択欄】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 <input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 <input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。 ※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日 (うち捕獲作業を行った期間) 令和6年11月9日～令和6年3月3日
実施区域	<p>【①捕獲等事業】 上越地域(上越市、妙高市、糸魚川市) 中越地域(柏崎市、十日町市、長岡市、津南町) 下越地域(村上市、新潟市)</p> <p>【②市町村連携事業】 三条市、加茂市、田上町</p>
関係機関との協力	市及び地元狩猟者団体等と捕獲場所や時期等について調整を図った。
事業の捕獲目標	<p>【①捕獲等事業】 (173.3%達成) = (520頭 実績値) / (300頭 目標値)</p> <p>【②市町村連携事業】 (15.5%達成) = (31頭 実績値) / (200頭 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟

	<input type="checkbox"/> その他 () 【わな猟】 <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 () ※1：各種猟法の定義は11ページ参照、※2：複数チェック可
捕獲個体の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：作業者および捕獲個体が写った遠景の写真と個体の大きさ等が確認できる近景の写真。なお、近景の写真は巻尺等を当てて個体サイズが判別できるようにし、捕獲個体の左側面腹部に赤色の油性ペンキ等で個体番号を記入するとともに、①捕獲日時、②捕獲場所、③メッシュ番号、④捕獲個体番号を記載した看板等を入れて撮影） <input checked="" type="checkbox"/> その他（捕獲日時、場所、性別、齢区分、体重、体長、後足長、妊娠の有無等を記録） ※複数チェック可
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。 わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：使用するわなの種類や設置の場所、時期等を検討することで、錯誤捕獲の未然防止を図る） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。 鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	受託者は、業務計画に基づき捕獲従事者への安全教育・訓練を行い、安全管理規定を尊重し安全管理体制を構築した。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：619人 （内訳） 正規雇用者：619人 期間雇用者：0人 日当制：0人

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	<p>評価：</p> <p>事業全体では目標 500 頭に対し、551 頭捕獲し、目標達成率は 110.2%であった。</p> <p>【①捕獲等事業】</p> <p>目標 300 頭に対し、捕獲実績は銃猟 257 頭・わな猟 263 頭で目標達成率は 173.3%であった。捕獲実績が目標を大きく上回ることができた要因としては、比較的定着が進んでいる場所で集中的に捕獲を行うことで、効率的に捕獲したことが考えられる。</p> <p>【②市町村連携事業】</p> <p>目標 200 頭に対し、捕獲実績は銃猟 15 頭・わな猟 16 頭で目標達成率は 15.5%であった。捕獲実績が目標を大きく下回った要因としては、比較的生息密度の低い地域で捕獲を行ったため、捕獲率が低下したことが考えられる。</p>
	<p>改善点：</p> <p>【①捕獲等事業】</p> <p>今後も生息状況調査などによりイノシシの生息状況を把握し、生息密度の高い場所で効率的に捕獲する。</p> <p>【②市町村連携事業】</p> <p>捕獲実績や生息状況調査の結果を元に事業実施場所の生息状況に合わせた捕獲目標を設定し、計画的に捕獲を行う必要がある。</p>
【実施期間】	<p>評価：</p> <p>【①捕獲等事業】</p> <p>積雪期までは主にわな猟を実施し、積雪後は銃猟を中心に行い、気候条件に合わせた効率的な捕獲により目標を達成することができた。</p> <p>【②市町村連携事業】</p> <p>9 月からわな捕獲、1 月に銃猟を実施したが、捕獲目標を達成できなかった。</p>
	<p>改善点：</p> <p>【①捕獲等事業】</p> <p>特になし。</p> <p>【②市町村連携事業】</p> <p>銃猟による捕獲効率は高いため、12 月から銃猟を実施し、捕獲努力量を増やす必要がある。</p>

<p>【実施区域】</p>	<p>評価： 【①捕獲等事業】 県内でも比較的に生息密度が高いと想定される 7 市町村 55 メッシュを対象に事業を実施した。 【②市町村連携事業】 生息拡大がみられる 3 市町 12 メッシュを対象に事業を実施した。</p> <p>改善点： 【①捕獲等事業】 特になし。 【②市町村連携事業】 生息域の拡大地域では、生息分布を把握したうえで、生息の可能性が高い場所で捕獲を行う必要がある。今後も生息状況調査を通じて分布に関するデータを蓄積し、それに基づいて実施区域を選定していく。</p>
<p>【捕獲手法】</p>	<p>評価： 【①捕獲等事業】 銃猟は忍び猟と巻き狩り、わな猟はくくりわなと箱わなを実施した。銃猟は地域ごとに捕獲効率が大きな差があった。 【②市町村連携事業】 銃猟は忍び猟と巻き狩り、わな猟はくくりわなと箱わなを実施した。銃猟の捕獲効率は①捕獲事業と大きな差が無かった。</p> <p>改善点： 【①捕獲等事業】 銃猟は捕獲効率の高い場所に絞って行うことで効率的な捕獲ができる可能性がある。 【③市町村連携事業】 銃猟は比較的に効率よく捕獲ができているため、努力量を増やすことで捕獲数の増加が可能である。</p>
<p>2. 体制整備に関する評価及び改善点</p>	
<p>【実施体制】</p>	<p>評価：銃猟は 2 名以上で実施し安全に配慮した。 改善点：引き続き、安全に配慮した体制を構築する。</p>
<p>【個体処分】</p>	<p>評価： 【①捕獲等事業】 個体処分の方法は自家消費 307 頭、埋没 174 頭、処理施設 1 頭、焼却 38 頭で食用としての利用率は 59.0%だった。 【②市町村連携事業】</p>

	<p>個体処分の方法は自家消費 30 頭、埋没 1 頭で食用としての利用率は 96.8% だった。</p> <p>改善点： 食用としての利用は全て自家消費だが、自家消費のみでは捕獲数が増えると①捕獲事業の実績のように利用率が低下するため、その他の活用方法も検討する必要がある。</p>
【環境配慮】	<p>評価： 銃猟においては鉛製銃弾が使用された。また、両事業においては、以下の錯誤捕獲が発生した。</p> <p>【①捕獲等事業】 わな猟でタヌキ 8 頭、アナグマ 4 頭、ニホンジカ 5 頭の錯誤捕獲が発生した。</p> <p>改善点： 非鉛製銃弾の使用を促す。アナグマ、タヌキ、キツネの錯誤捕獲が発生していることから、中型獣類等の錯誤捕獲の発生を予防するように指導等を行い、錯誤捕獲の未然防止を図ることが必要である。また、指定管理鳥獣であるニホンジカの錯誤捕獲もあるが、今後イノシシとニホンジカの生息域拡大により同様の錯誤捕獲の頻度が増加する可能性があるため、両種の捕獲事業の連携を図り適切に処理することが望ましい。</p>
【安全管理】	<p>評価： 実施計画、安全管理規定に基づき、事故防止の徹底を図った結果、苦情や人身事故等の重大事故は発生しなかった。</p> <p>改善点： 引き続き、安全管理規定の遵守を徹底する。</p>
3. その他の事項に関する評価及び改善点 関係法令を遵守し適切に事業を実施した。	
4. 全体評価 市町村連携事業では捕獲目標を達成できなかったものの、捕獲事業で捕獲数を伸ばすことで事業全体では捕獲目標に対し 110.2%を達成することができた。市町村連携事業は銃猟で比較的高い捕獲効率で捕獲できていることから、今年度の事業実績や生息状況調査などを基に適切な手法や実施場所を選択することで、生息拡大地域において捕獲数を増加させることが可能である。また、錯誤捕獲が複数発生しているため、防止策を徹底する必要がある。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

第三期新潟県イノシシ管理計画では、イノシシの管理目標として以下を定めている。
 (1) 令和8年度末までに推定個体数を6,900頭程度にする、(2) 農林業被害の軽減、
 (3) 生活環境被害の軽減(人身被害の発生件数はゼロ)。

上記の管理目標の中で、指定管理鳥獣捕獲等事業は、捕獲の強化を図ること、効果的な捕獲に取り組むモデル事業の実証をすることが事業の役割である。本事業の捕獲数515頭は令和5年度捕獲数3,302の17%程度であり、イノシシの個体数減少に貢献していると考えられる。

一方で、生息状況調査の結果などから県内のイノシシの個体数が減少傾向ではないため、今後、本事業では目標捕獲数の達成に向けて必要な改善を推進することで、引き続き第二種特定鳥獣管理計画で定めるイノシシの管理目標の達成につなげることが重要である。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域(都道府県・市町村)ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点(緯度経度) <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 (体長、体高、メス個体の妊娠の有無及び胎児の数)	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数 [※] <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 903 人日

事前調査人日数概数※2： 0 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 捕獲等事業：856 人日、市町村連携事業：47 人日

※以下、捕獲等事業→「捕獲」、市町村連携事業→「連携」で示す。

項 目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	捕獲：856 人日 連携：47 人日	捕獲：711 人日 連携：538 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 8,479 人日

事前調査人日数概数※2： 0 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 捕獲等事業：7,753 人日、市町村連携事業：726 人日

項 目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	捕獲：52,780 基日 連携：6,411 基日	捕獲：17,604 基日 連携：6,839 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (事業年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	捕獲：257頭 連携：15頭 全事業合計：272頭	捕獲：188頭 連携：54頭 全事業合計：242頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	捕獲：688頭 連携：46頭 全事業合計：734頭	捕獲：556頭 連携：160頭 全事業合計：716頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	捕獲：48.2% (124頭/257頭) 連携：26.7% (4頭/11頭) 全事業合計：47.1%	捕獲：43.6% (82頭/188頭) 連携：38.9% (21頭/54頭) 全事業合計：4.26%	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	捕獲：14.0% (124頭/257頭) 連携：0.0% (0頭/15頭) 全事業合計：13.2%	捕獲：12.2% (23頭/188頭) 携：7.4% (4頭/54頭) 全事業合計：12.4%	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※目撃数は捕獲した頭数も含む。

※雌雄比のメスは幼獣メスも含む。

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

※以下、捕獲等事業及び市町村連携事業の合計を示す。

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	121頭	589人日	0.205頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.752頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	127頭	254人日	0.481頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.866頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリン グ	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日	頭/人日

			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数（※SPUEの目撃数は捕獲した頭数も含む）

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	捕獲：263頭 連携：16頭	捕獲：133頭 連携：41頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	捕獲：38.8% (102頭/263頭) 連携：87.5% (14頭/16頭) 事業全体：41.6%	捕獲：47.4% (63頭/133頭) 連携：46.3% (19頭/41) 事業全体：45.0%	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	捕獲：7.2% (19頭/263頭) 連携：6.3% (1頭/16頭) 事業全体：7.2%	捕獲：17.3% (23頭/133頭) 連携：0% (0頭/41頭) 事業全体：15.4%	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※雌雄比のメスは幼獣メスも含む。

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

※以下、捕獲等事業及び市町村連携事業の合計を示す。

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	210頭	48,708基日	0.004頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	69頭	9,510基日	0.007頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数：2,642 人時間

(捕獲等事業：2,420 人時間、市町村連携事業：222 人時間)

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：337 個体

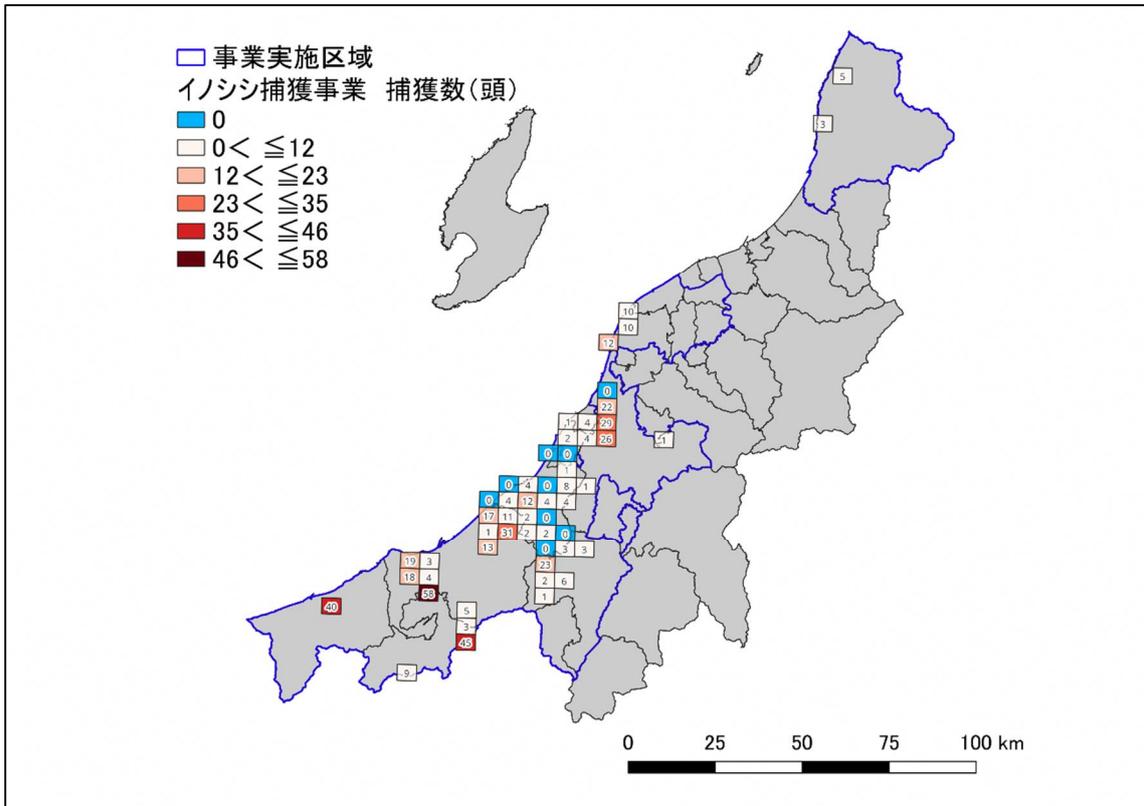
(捕獲等事業：307 個体、連携：30 個体)

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

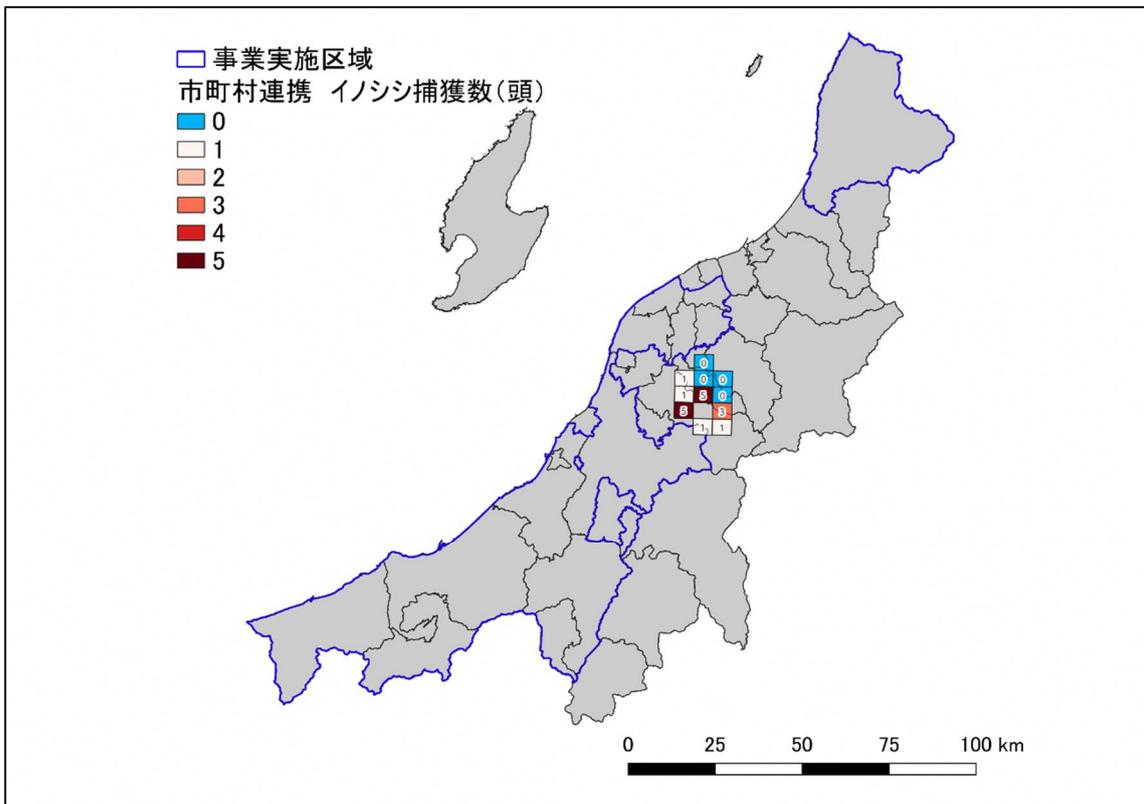
作業者および捕獲個体が写った遠景の写真と個体の大きさ等が確認できる近景の写真、捕獲日時、場所、性別、齢区分、体重、体長、後足長、妊娠の有無等を記入した捕獲調査票、作業日報を提出させることで確認した。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

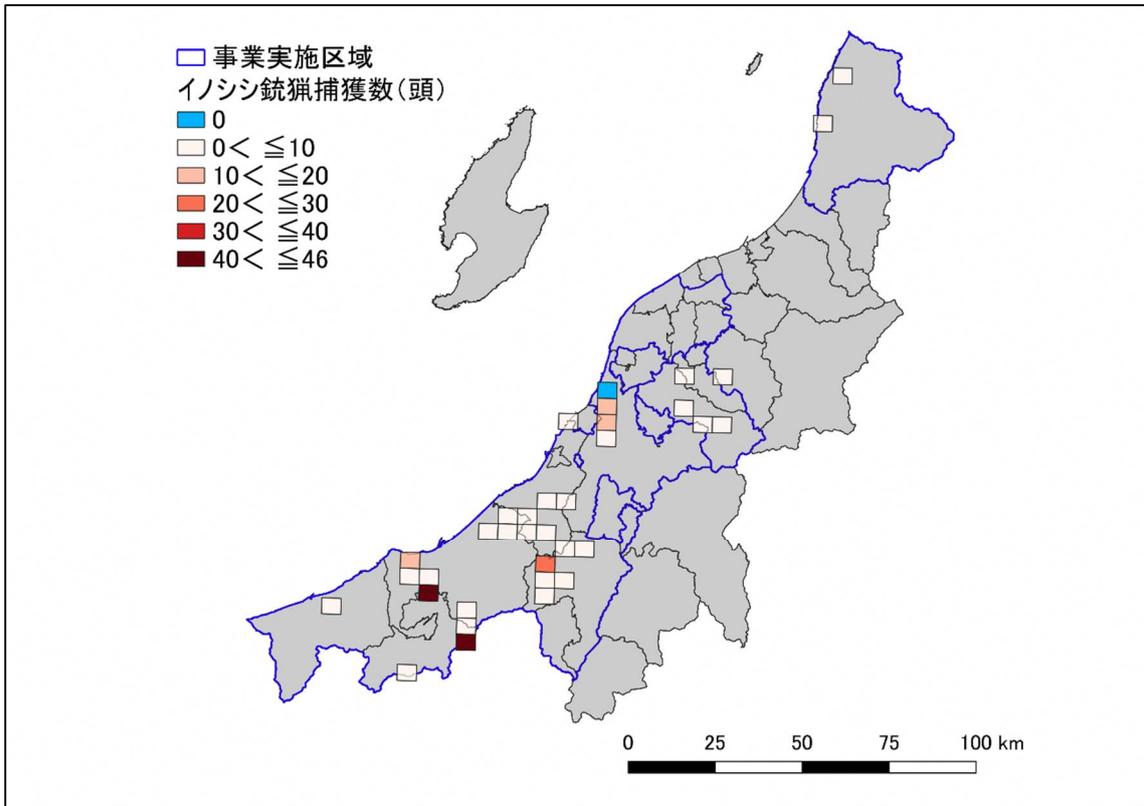
誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。



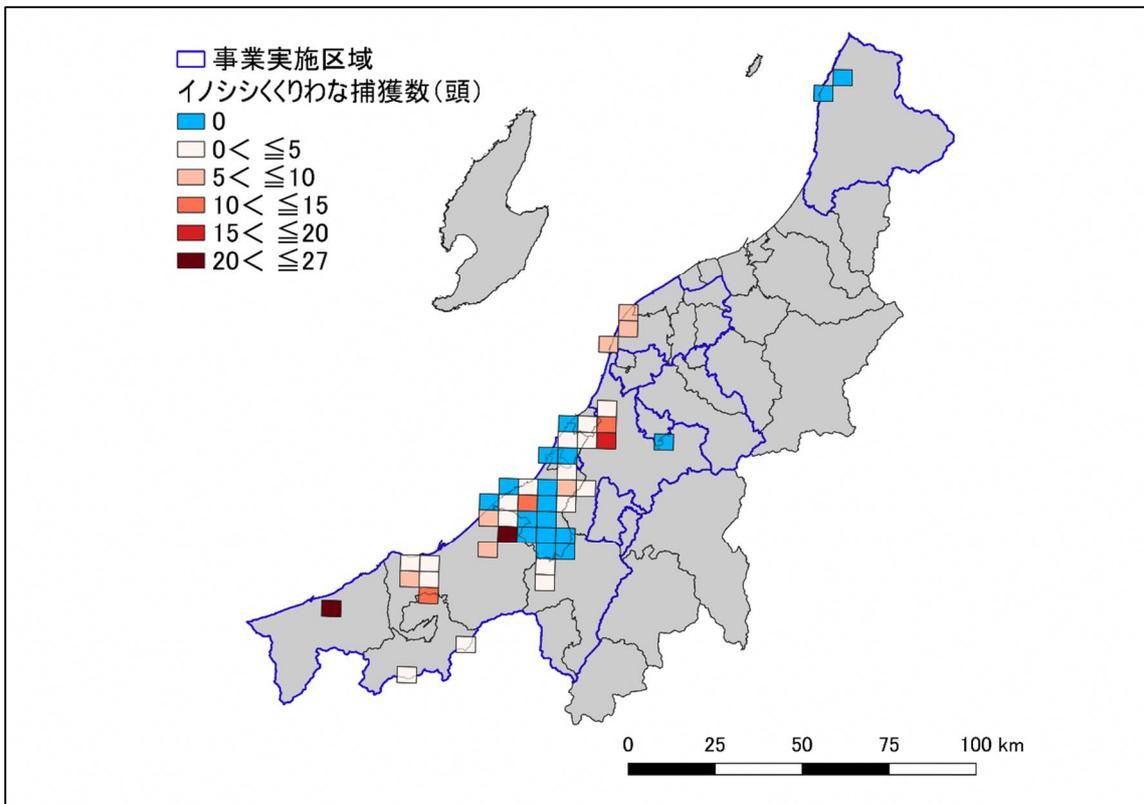
イノシシ捕獲事業 捕獲数



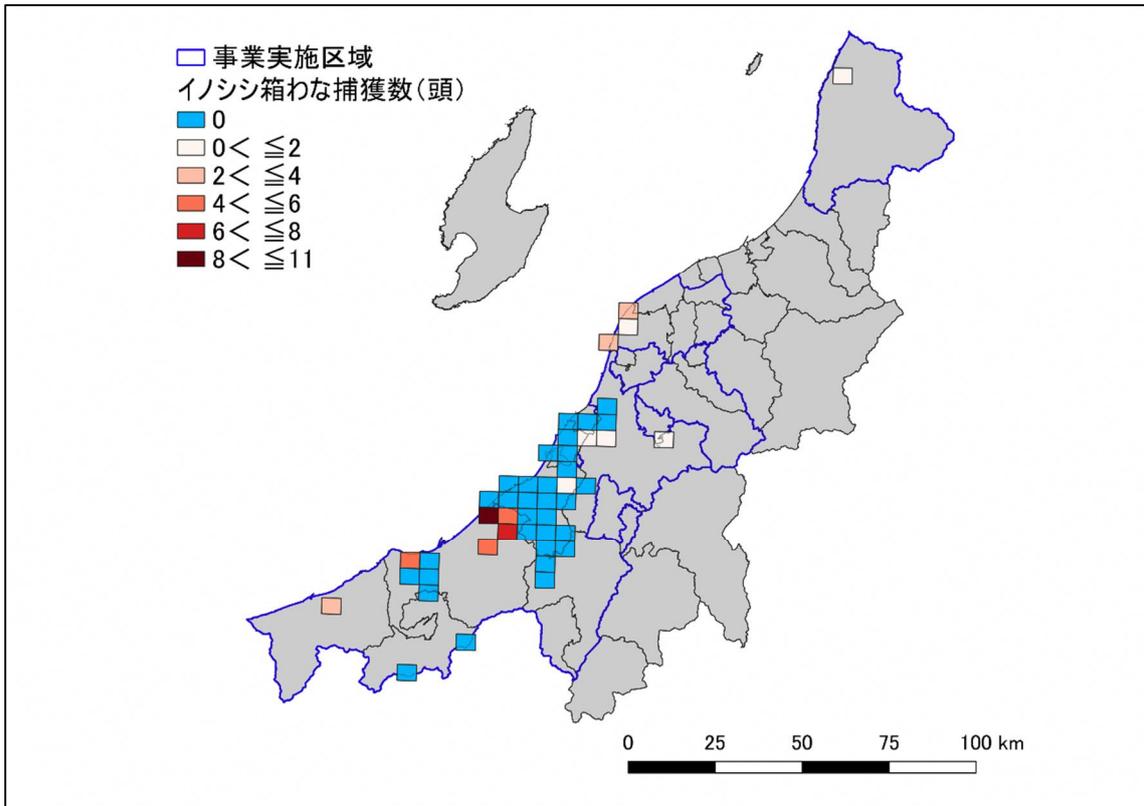
市町村連携事業 捕獲数



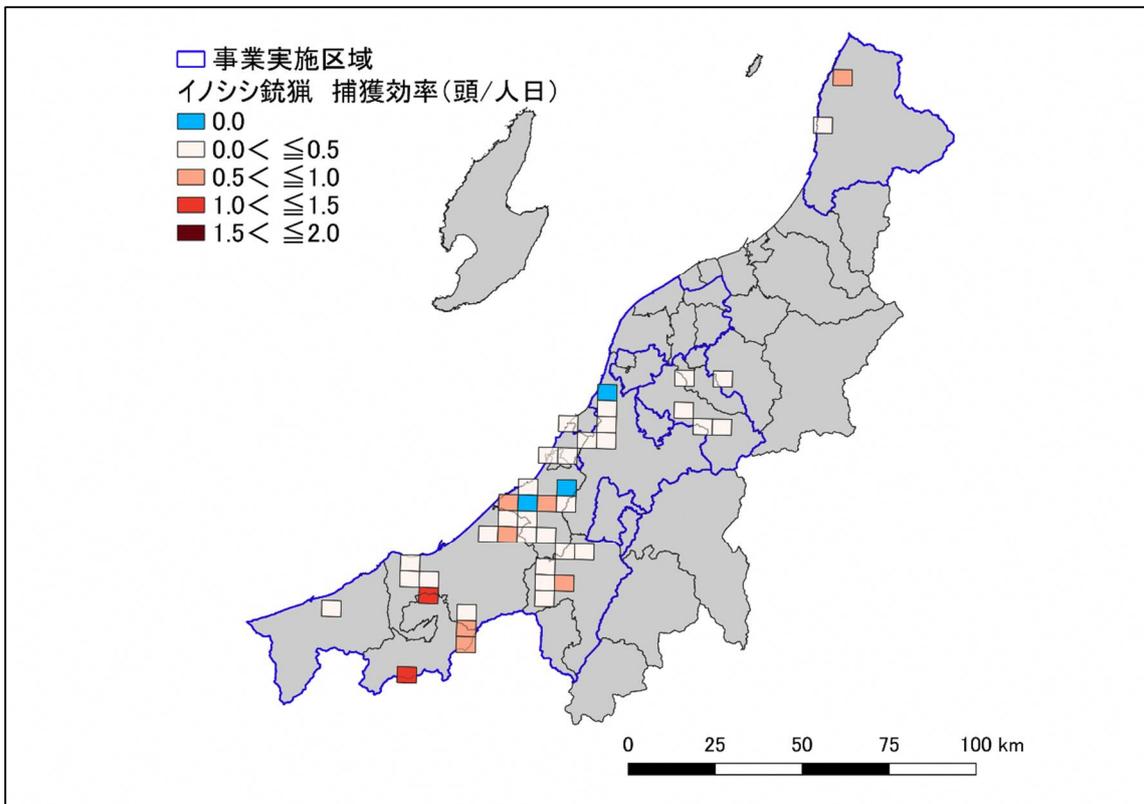
メッシュ別 銃猟におけるイノシシ捕獲数 (全事業合計)



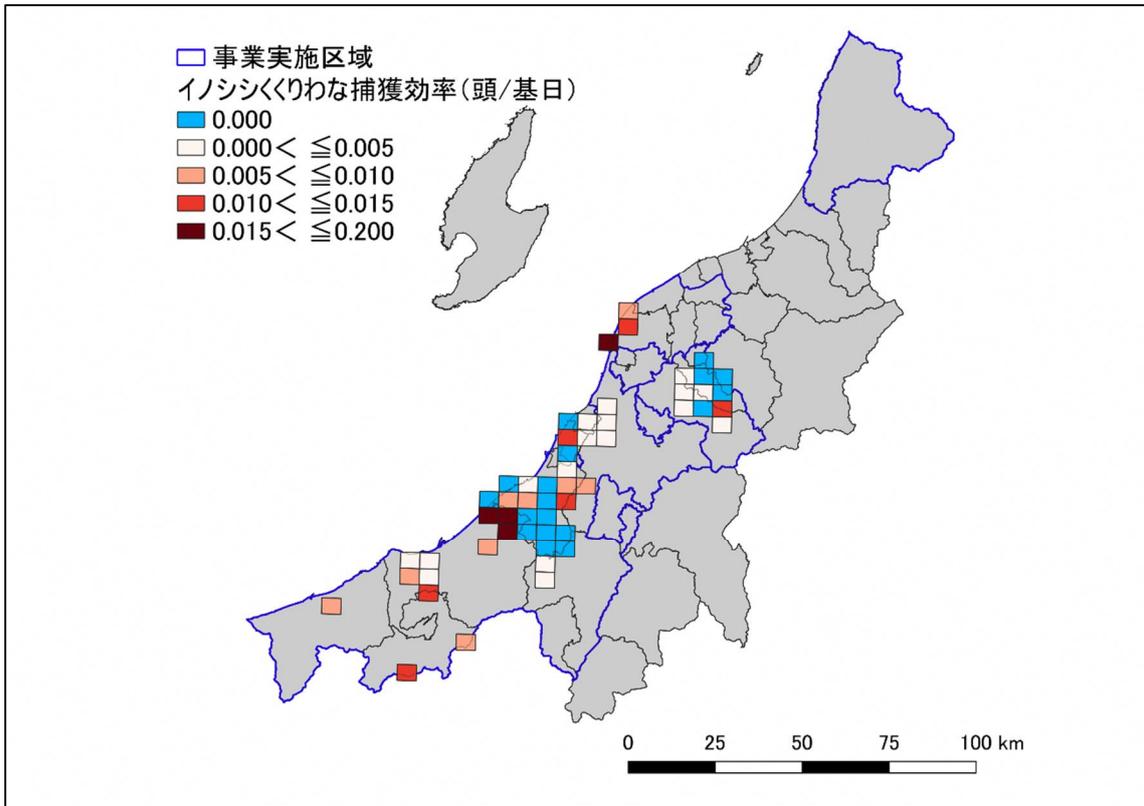
メッシュ別 くりわな猟におけるイノシシ捕獲数 (全事業合計)



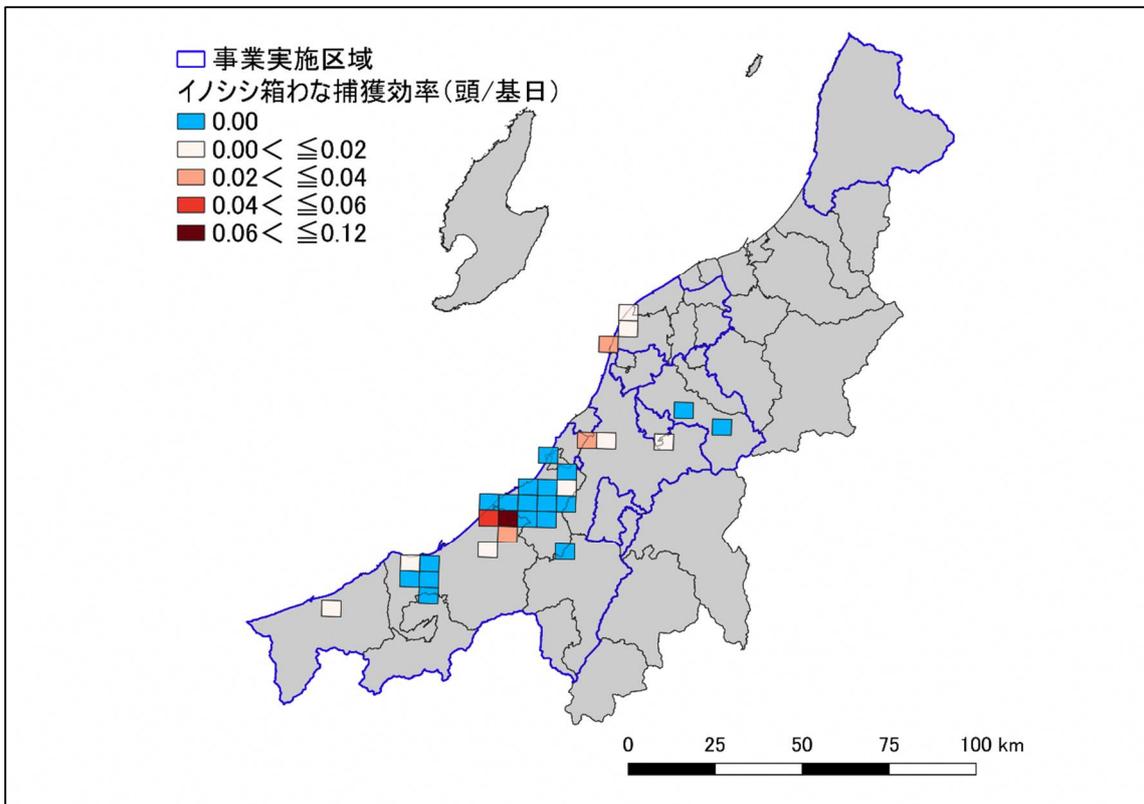
メッシュ別 箱わな猟におけるイノシシ捕獲数 (全事業合計)



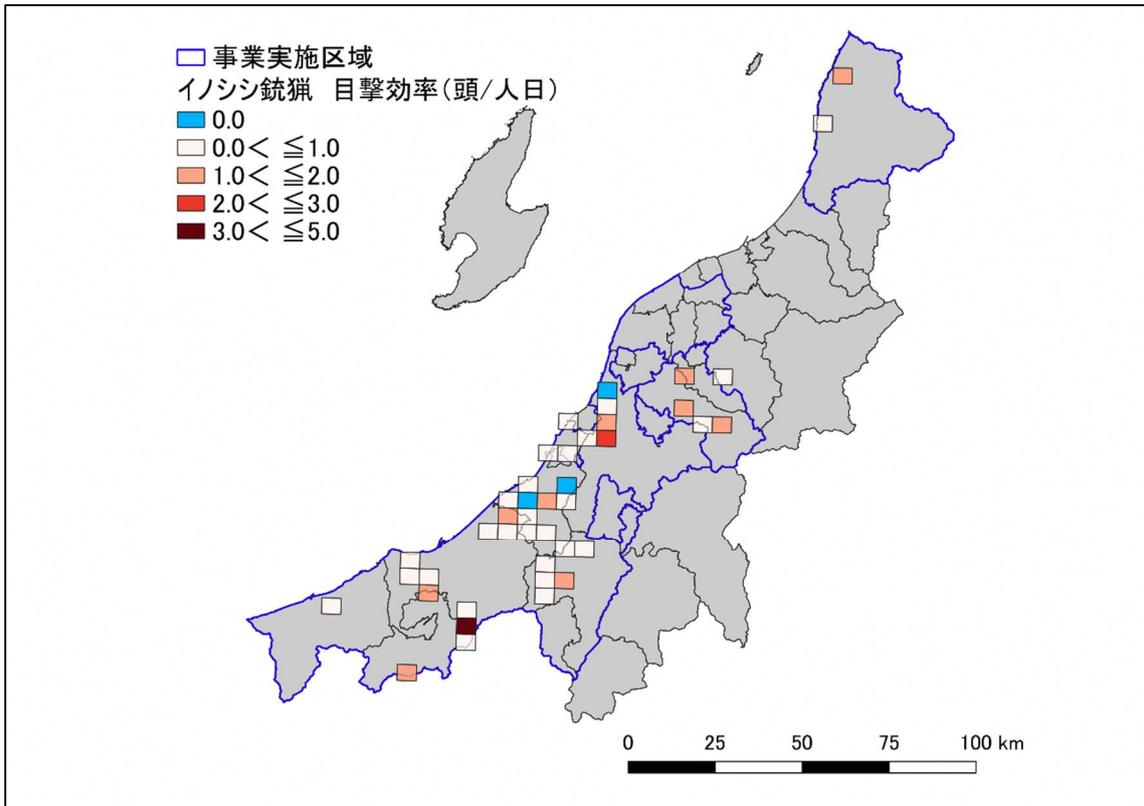
メッシュ別 銃猟におけるイノシシ捕獲効率 (全事業合計)



メッシュ別 くりわな猟におけるイノシシ捕獲効率 (全事業合計)



メッシュ別 箱わな猟におけるイノシシ捕獲効率 (全事業合計)



メッシュ別 銃猟におけるイノシシ目撃効率 (全事業合計)